

地域福祉推進セミナー開催要項

～地域における「新たな支え合い」を求めて～

1. 目的

昨年度末、厚生労働省の「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告書である、「地域における「新たな支え合い」を求めて－住民と行政の協働による新しい福祉－」が取りまとめられた。本報告書は、地域福祉の意義や役割、住民の福祉活動と行政の関係、地域福祉を推進のための条件とその整備方策など、今後の地域福祉の方向性を示している。

本セミナーは、この報告書の内容を広く関係者に広報・周知するとともに、先駆的な活動事例を紹介し意見交換することにより、地域における新たな支え合いを構築し、各市町村における地域福祉の推進に資することを目的に開催するものである。

2. 主催等

〔主催〕

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会

〔共催（企画・運営協力）〕

特定非営利活動法人コミュニティライフサポートセンター

〔後援〕（予定）

厚生労働省、広島県、全国市長会、全国町村会

さわやか福祉財団、全国農業協同組合中央会、日本生活協同組合連合会、日本赤十字社

中国ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会

3. 日時

平成 20 年 7 月 2 日（水） 13:00 開始

4. 会場

広島県民文化センター（広島市中区大手町 1-5-3 Tel082-245-2311）

（添付地図参照）

5. 対象および定員

都道府県・指定都市行政職員、市町村行政職員、市区町村社協役職員、都道府県・指定都市社協役職員、地域包括支援センター職員、NPO・ボランティア関係者、民生委員・児童委員、その他地域福祉関係者

定員：500人

6. 参加費

2,000円(資料代)

7. 内容

13:00 開会・挨拶

13:10 報告「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書について」
厚生労働省社会・援護局地域福祉課課長補佐 千田 透

14:00 講演「住民の地域福祉活動への期待」
これからの地域福祉のあり方に関する研究会委員
読売新聞東京本社生活情報部 榊原 智子

15:00 連続レポート「地域における『新たな支えあい』の方法
～住民と行政の協働による新しい福祉～」

- | | |
|--------------------|--------|
| ①地域ボランティア沖代すずめ代表 | 吉田 日出子 |
| ②松江市忌部地区社会福祉協議会副会長 | 山田 安郎 |
| ③庄原市社会福祉協議会総合センター長 | 上田 正之 |

パネルディスカッション

研究会委員、レポーター、厚生労働省社会・援護局により、新たな支え合いの構築に向けた今後の取り組み課題を討議する。

17:00 終了

8. 申込締切

平成20年6月18日(水)

9. 申込方法

「参加のご案内」により、参加申込書に記入のうえ、名鉄観光(株)広島支店宛に送付のこと。この申し込みに基づき、同社より振込依頼書ならびに参加券が送付されるので、当日持参のこと。支払いは、期日までに振込みのこと。

10. 個人情報の取扱いについて

「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用し、本会議の名簿に名前・所属・役職を掲載する。

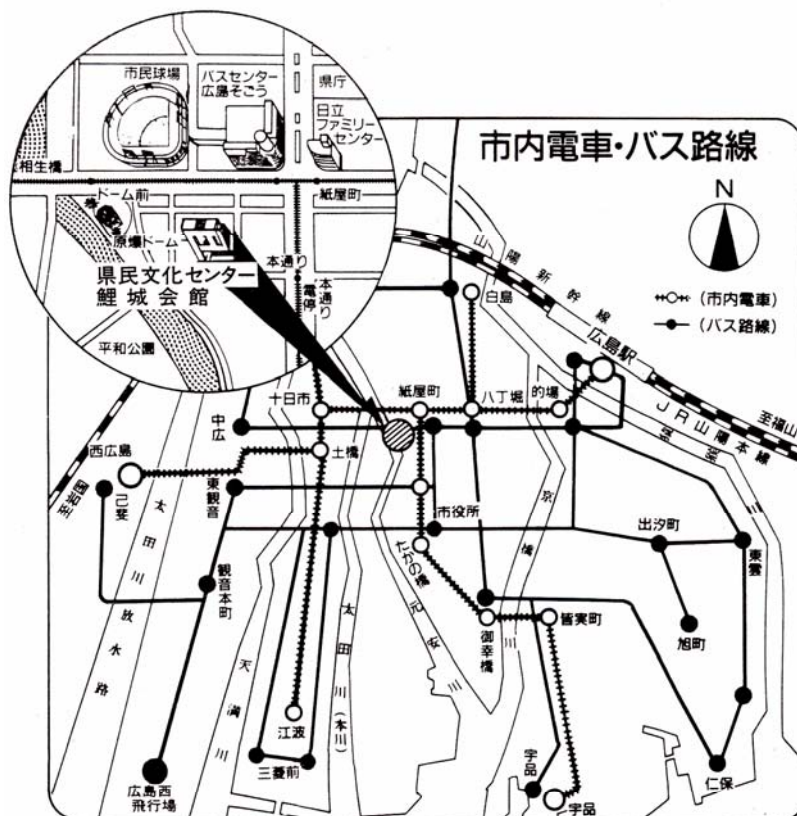
11. 問い合わせ先

広島県社会福祉協議会 福祉部地域福祉課 担当：丸山

〒732-0816 広島市南区比治山本町1 2-2

TEL 082-254-3414 FAX 082-256-2228

Eメール：chiiki@hiroshima-fukushi.net



広島駅から▶広島電鉄電車紙屋町下車、広島電鉄バス広島西飛行場行本
通り下車、広島バス広島港行本通り下車、その他紙屋町経由
電車・バス紙屋町下車便多数 (所用時間約10分)

広島バスセンターから▶徒歩約3分

新広島空港から▶リムジンバス広島バスセンター行終点下車(" 約60分)

広島港から▶広島バス広島駅・向洋行本通り下車、広島電鉄電車・広島駅
(紙屋町経由)行、西広島駅行、本通り下車 (" 約30分)